



CONTENTS

新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴う活動自粛のため、今号は2頁の掲載となります。

- 1頁・奈良東病院透析室リニューアル
～当院の強みを活かした透析療法～
- 2頁・介護技能実習生の受け入れ再開
～ベトナム人技能実習生6名が来日しました～
- 2頁・暑い夏のおやつ「ソフトクリーム」で笑顔いっぱい!

第136号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治

編集: ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



医療法人健和会
奈良東病院透析室

看護主任 佐藤 悠



奈良東病院 透析室リニューアル

～当院の強みを活かした透析療法～



日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度、奈良東病院透析室はグループ内の透析専門診療所「医療法人健和会ひまわりクリニック」と合併し、令和4年8月1日より病院本館4階に全15床の透析施設としてリニューアルすることとなりました。この場を借りて、

尽力していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

遡りますと、当グループの透析施設「ひまわりクリニック」は平成29年7月に外来透析クリニックとしてオープンしました。地域の透析治療が必要な患者様が当グループの関連施設をご利用していただきながら、透析が行えるようにとの思いからスタートしております。その後、平成31年2月には医療依存度の高い方や、ひまわりクリニックで透析を受けられていた方が安心して入院し、透析を継続して行えるよう、奈良東病院内に2床の透析室を設置しました。さらに地域包括ケア病棟(本館3階病棟)や回復期リハビリテーション病棟(本館4階病棟)だけでなく、障害者施設等一般病棟(北館1階病棟)や医療療養病棟(北館2階病棟)、介護医療院(西館1階・2階)を利用されている患者様に広く利用していただき、また地域の近隣病院様からの紹介も増加している中で、より多くの患者様受け入れと医療設備の充実を図る目的で、今回のリニューアルに至った次第でございます。

近年の透析患者様の動向を見ますと、わが国の透析患者数は年々増加し、2020年末の施設調査結果による透析患者数は347,671人に達し、人口百万人あたりの患者数は2,754人で、平均年齢は69.40歳となっています。最も割合が高い年齢層は男女とも70歳～74歳であり、65歳未満の患者数は2012年から減少し、70歳未満の患者数は2017年から減少しています。すなわち、わが国の慢性透析患者数の増加は70歳以上の患者数増加が大きく関係している結果との報告があります(日本透析医学会 2020年12月現在)。この調査結果からも分かる通り、現在のわが国における大きな問題として透析患者全体の高齢化が挙



げられます。今までは自宅から通院し透析を受けてこられた方が、年齢を重ねるにつれて通院が難しくなるケースが増えてきています。また、新規透析導入平均年齢も70.88歳と慢性透析患者同様に高齢化が顕著になっている傾向があります。こういった実情は、近隣病院や施設も同様であり、リニューアル前から多数の問い合わせをいただいております。

当院は、開院当初より高齢者医療に携わり様々なスキルを持ち合わせ、グループとして高齢者の生活を支える基盤が整っています。その強みを生かし、透析におきましても皆様のお力添えをいただきながら高齢者の慢性維持透析に特化した体制づくりが必要と考えております。例えば、透析患者様は食事制限や塩分制限、水分制限が必要になります。しかし、高齢者にとっての楽しみや生きがいにおいて食事はとても重要だと考えます。可能な限り緩やかな食事・水分制限を行いながら、その分透析効率を上げて対応するなどの治療を行っています。

今後の展望といたしまして、多職種連携を軸に透析リハビリの導入とフットケアの充実を図り、より良い治療環境の整備と患者様・職員共に満足度の高い透析室にしていきたいと考えております。

透析スケジュールの変更や薬の調整で、グループ内施設職員の皆様には平素より大変お世話になっています。今後とも、患者様ファーストで透析+αが提供できる透析室を目指して頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

介護技能実習生の受け入れ再開 ～ベトナム人技能実習生6名が来日しました～



コロナ禍のため、令和3年1月の11名の受け入れを最後に止まっていたベトナム人介護技能実習生の受け入れを令和4年6月より再開し、6月に2名、8月に4名を新たに受け入れました。

ミーさん	6月23日配属	グループホーム なら清寿苑
フェンさん	6月23日配属	グループホーム ふれあい天理
ガンさん	8月26日配属	介護付有料老人ホーム やまと
キムさん	8月26日配属	特別養護老人ホーム 清寿苑
イーさん	8月26日配属	奈良東病院 介護医療院
ディン君	8月26日配属	奈良東病院 北館2階病棟

「技能実習生」を簡単に説明しますと、技能実習制度という制度に基づき、発展途上国の若者が母国の技術の発展のために来日し、日本で働きながら技術と知識を学び、3年間の技能実習終了後は母国に帰国し、母国の介護施設等で日本で学んだ介護技術を生かしながら、介護

のリーダー的な存在として働き、ベトナムの介護技術の発展に寄与することを目的とした制度のことを言います(しかしながら実際にはベトナムには老人ホームのような介護の職場が少ないため、3年間の技能実習終了後も、技能実習の延長や在留資格を特定技能に変更して日本で働き続ける技能実習生が多いです)。彼らは来日前にベトナムで1年間ほど日本語を勉強し、ベトナムで日本語能力試験の3級(N3)に合格してから来日します。来日後も研修として1ヶ月を大阪で日本語や日本の文化、ルール、介護の基本について勉強し、やっと職場に就職します。しかしながら就職直後は、まだまだ日本語がうまく伝わらず、入居者さんや職員とのコミュニケーションで苦労するようです。



どうか、彼らを温かく見守っていただきたいと思います。そして3年間、しっかりと学び健康で過ごせますように、また早くコロナ禍が終息して、以前のように食事会や交流会ができるようになる日が戻って来ることを祈ります。

(奈良東病院グループ 本部 外国人職員受け入れ担当 係長 藤川 晃吉)

暑い夏のおやつ「ソフトクリーム」で笑顔いっぱい!



それぞれ容器を持ってもらい、機械から出てくるクリームをゆっくりと器を回しながら受けていただきます。「バニラ」「抹茶」など数種類の中から選び、出てくるクリームをこぼれないように受けるという、まるでレクリ



エーションを楽しんでいるかのような光景も見られます。ソフトクリームが描かれたのぼりを立て、ハワイアン音楽が流れる中、フラダンスの衣装とレイを付けた職員が皆様を案内しながら、まるでハワイにいるかのような雰囲気 연출しました。

「冷たくておいしいわ〜」「この前、チョコレート食べたから、今日は抹茶にしてん」など、毎回楽しみにされている方や、その様子を聞きましたとコメントいただけるご家庭もあります。また、感想をお伺いする中、声をかけた職員が欲しそうに見えたのか「おいしかったわ〜、あなたの分はないで〜」とにっこり笑うその口元がストロベリーでピンクに染まっている方もおられ、こちらもスマイル。来年も皆様の笑顔がたくさん見られるよう数多く開催できればと考えております。

(デイサービスセンター清寿苑 檜垣 英樹)

レクリエーションにて、「夏と言えば?」と尋ねると、「海水浴、花火、かき氷」などの声上がる中、よく聞かれるのが「ソフトクリーム」。そんなソフトクリームを目の前で作って、召し上がっていただくという企画を夏限定で行っています。

いまだ終息しないコロナ禍の中、慰問・イベントなどの行事を自粛せざるを得ない状況下、少しでも皆様に喜んでいただこうと、「ソフトクリームの実演」を開催しました。清寿苑の各フロアでおやつとして提供し、今年で3年目のイベントです。

三角のコーンにクリームを渦巻状に重ねていくのではなく、皆様に

編集後記

10月に入り、朝晩は少し肌寒く感じられる日が増えてまいりました。日中も少し前までは非常に暑い日が続いておりましたが、最近では比較的過ごしやすく、秋を感じられる気候となってきました。日を追うごとに秋の夜長を感じられる今日この頃です。

季節が移り変わる時期ですが、まだまだ新型コロナウイルスの話題を聞かない日はありません。ただ、第7波もピークを過ぎつつあり、これまで非常に高い水準で推移していた感染者数も少しずつ落ち着いた数字に戻りつつあります。

しかしながら、日々報道がなされているとおり、毎日感染が確認されております。まだ新型コロナウイルス自体が終息したわけではありません。これまでどおりマスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の徹底をお願いします。

これから季節は冬へと移り変わります。新型コロナウイルス以外にもインフルエンザ等の他の感染症が流行する可能性もあります。先にも申し上げましたが、感染防止対策を徹底いただき、体調管理に努めていただきますようお願いいたします。

(広報委員長 橋本 重之)

